

経営比較分析表（令和2年度決算）

栃木県 さくら市

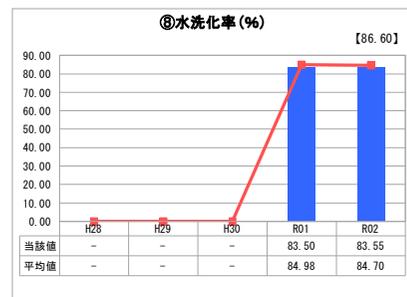
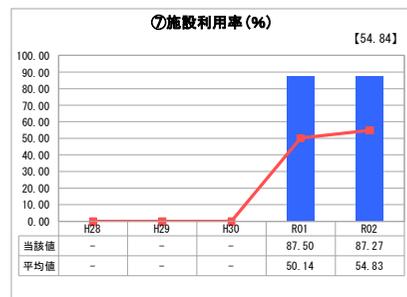
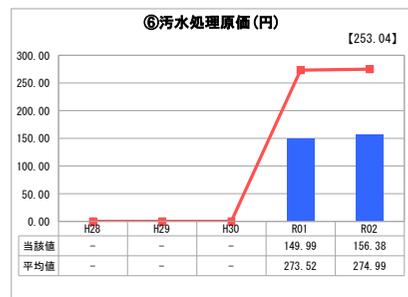
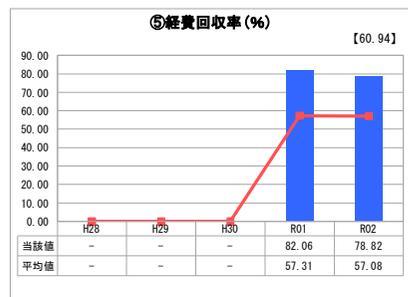
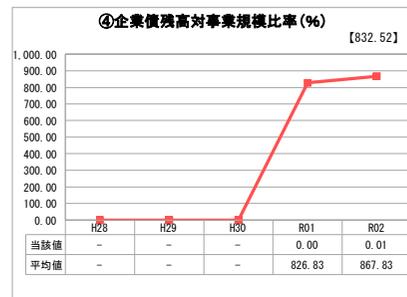
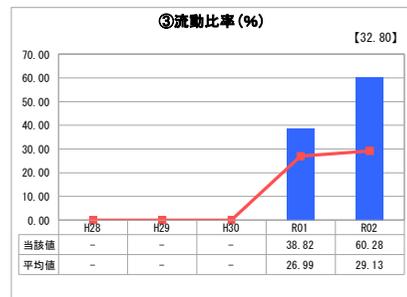
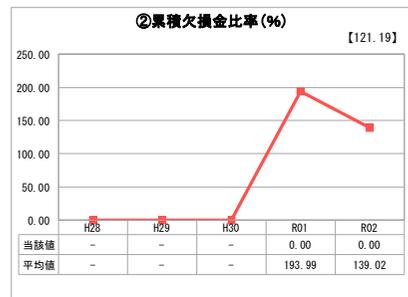
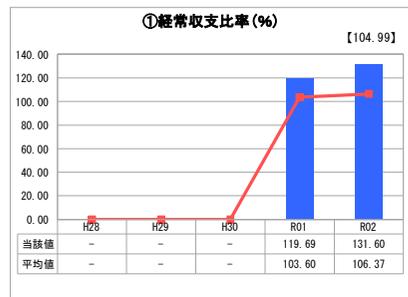
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	77.74	2.61	67.15	2,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
44,329	125.63	352.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,155	0.35	3,300.00

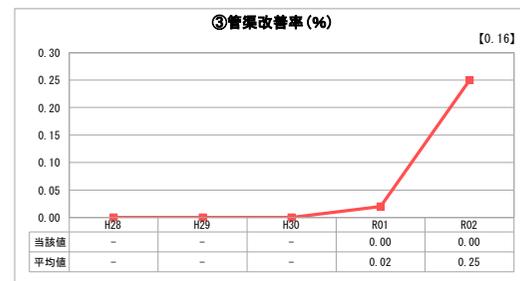
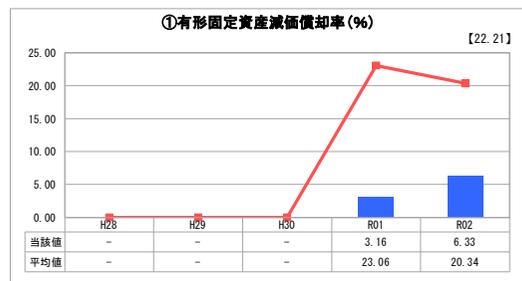
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当該事業は、計画区域の整備が完了しているため、維持管理が主な業務となっている。

当該年度は、地方公営企業法の全部適用への移行後の2年目である。そのため、全ての表について、前々年度以前の比較が困難な状況である。

① 経常収支比率は、100%を上回り、類似団体平均値より高い状況である。しかし、使用料で経費全額を回収できておらず、使用料以外の収入（主に一般会計からの繰入金）で補填している状況である。

③ 流動比率は、流動資産のうち現金預金の保有額を増加させることができており、類似団体平均値を上回る状況である。

⑤ 経費回収率は、経済的・効率的な汚水処理施設の運転ができており、類似団体平均値を上回る状況である。

⑥ 汚水処理原価は、経済的・効率的な汚水処理施設の運転ができており、類似団体平均値を下回る状況である。

⑦ 施設利用率は、適正な処理能力を有することにより、類似団体平均値を上回る状況である。

⑧ 水洗化率は、処理区域内における接続人口の減少により、類似団体平均値を下回る状況となっている。

2. 老朽化の状況について

現在、法定耐用年数（50年）を超えた管渠はないが、施設点検や管渠カメラ調査等を実施し、適宜、修繕や清掃を進めている。

① 有形固定資産減価償却率は、公営企業会計への移行から間もないことにより、減価償却累計額が少ないため、類似団体平均値を下回る状況である。

全体総括

当該事業は、整備が完了しており今後の整備拡大の予定も無いことから、施設の更新が課題になる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。